

平成27年度補正地方創生加速化交付金事業評価書

担当課: みの魅力発信課, 文化交流課, 観光課

1 事業概要

事業名	「BLOOM ! Mito City」～インバウンド観光総合プロモーション事業～		
総合戦略における位置付け	基本目標	I 生き生きと働けるしごとを創る II 新たなひとの流れを生み出す	
事業目的	訪日外国人観光客数が過去最高となる中、その多くは、東京・大阪を結ぶ「ゴールデンルート」沿い地域に偏ってきたが、地方においても積極的に呼び込んでいく必要がある。2019年茨城国体、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催により、今後更なる観光客数の増加が見込まれていることから、この好機を活かし、観光交流人口の増加を図ることはもとより、経済波及効果を生み出し、地域経済の活性化及び雇用の拡大等につなげていく。		
事業期間, 事業費	事業期間	総事業費	交付金(交付率100%)
	2016(平成28)年度	68,742千円	68,742千円
事業内容	<p>【外国人観光客のニーズに的確に対応するためのマーケティングとマネジメントの強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国人観光客のニーズ調査 インバウンド観光の推進に向け、効果的なプロモーションの基礎資料とするため、本市を訪れる外国人について、訪問数や国籍、滞留エリア等を明らかにする動態調査を実施した。 ○専門エキスパートの任用 市内における観光事業の中核的な存在である水戸観光コンベンション協会にインバウンド専門エキスパートを採用し、人材育成をはじめ、DMO立ち上げを見据えて、行政、市内の観光関係事業者、金融機関、交通事業者等との連携体制を構築し、自走化に向けた仕組み作りを進めた。 <p>【ビジネスベースでのプロモーションの強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国際観光の推進事業 「花開く！水戸」をコピーに自然や歴史を中心とした水戸の魅力を伝える動画を制作し、その動画を活用しながら、台湾・中国における検索サイトや個人旅行系プロガーサイト等の各種メディアにおいてPRしたほか、ツアー造成に向け旅行代理店への商談を行うなど、誘客を促進する観光プロモーションを実施した。 ○戦略的観光PR事業 水戸市の豊かな観光資源を幅広くPRする外国人向け観光情報誌「外国語版るるぶ」(英語・中国語(繁体字・簡体字))を制作した。 <p>【外国人観光客に安心感を与える環境づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水戸の魅力発信アプリケーション開発事業 多様化する外国人観光客の受入体制の整備・充実のため、本市の魅力・情報を発信するアプリケーションの多言語化(5か国語)を図った。 <p>【観光地「水戸」としてのクオリティの向上, 新たな魅力づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○みと・HIKARI・プロジェクト 水戸の新たな魅力の創出に向け、水戸芸術館が主体となり、日本のライトアートの第一人者からの技術的協力を得て、芸術性の高いライトアップ事業を通年にわたり展開した。また、他事業とのコラボレーションにより、シナジー効果を生み出していく。 		

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1)KPIの達成状況

KPI項目		基準値 2014(平成26)年	目標値 2016(平成28)年	実績値	実績値年
1	市内外国人宿泊者数 (人/年)	15,421	16,680	32,743	2016(平成28)年
2	観光交流人口 (人/年)	3,426,000	3,700,000	3,674,100	2015(平成27)年 ※2016年の数値は 8月頃公表予定
達成率平均値 (実績値/目標値)				148%	

(2)評価

達成度	評価
A	<p>日本全体における外国人観光客が急増し、その効果が本市の指標を大きく引き上げる要因となったものと考えられる。それと合わせて、外国人観光客のニーズを捉え、インバウンド専門エキスパートを活用しながら、訪日外国人向け観光PR映像・動画広告の配信、現地旅行会社への商談等のプロモーションや、茨城県と連携したPRを展開することが指標に寄与したものと考えられ、本事業が地方創生に効果があったものと評価する。</p> <p>引き続き、目標の達成等に向け、マーケティング調査を基にした効果的なプロモーションを行うなど、更なる取組の深化を図る必要がある。</p>

※達成度は、国の評価基準を踏まえ、達成率平均値に基づき設定

- A:地方創生に非常に効果があった(100%以上)
- B:地方創生に相当程度効果があった(70%~100%未満)
- C:地方創生に効果があった(50%~70%未満)
- D:地方創生にあまり効果が見られなかった(50%未満)

(3)今後の取組

方針	主な取組
事業が効果的であったことから、取組の追加等更に発展させる	<p>国際会議を含むコンベンション誘致に向けて機能強化を図っている水戸観光コンベンション協会にインバウンド専門エキスパートを引き続き登用し、水戸版DMOの形成を目指し、関係機関と連携した効果的なプロモーションや新たな魅力づくりを推進する。</p> <p>2019年茨城国体、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、外国人観光客の受入の現況等を把握しながら、より効果的な体制整備等の強化を図る。</p>

※方針は、国の評価基準を踏まえ設定

- ・事業が効果的であったことから、取組の追加等更に発展させる
- ・事業内容の見直し(改善)を行う
- ・事業を継続する
- ・継続的な事業実施を予定していたが中止した
- ・当初予定通り事業を終了した